

- 対象 ・総合学科各系列の2年生のうち情報科目選択者
- 支援企業 ・株式会社日本ハイソフト
- 支援内容 ・地域課題を分析し、それを解決するスマホアプリの企画、設計の支援およびメンター役
- 基本方針 ・地域が抱える問題に対してITを活用して解決を図る能力を身につける
・問題解決に主体的に取り組む力を身につける
・社会人として必要な他者とのコミュニケーションスキルを身につける
- 目指す人物像 ・IT業界と地域課題に興味を持ち、情報系の学校に進学する人材の育成

地域課題解決を図るアプリを企画、設計するために、簡単な分析手法を学んだ後、住んでいる地域が抱えている身近な課題を分析しました。また、プロトタイプングツールの取り扱いについて学び、特性を理解して、ITで解決する方法を検討しました。

アプリ設計ではチームで役割を分担し設計をおこないました。支援企業のエンジニアがメンターとなり、企画設計における様々なアドバイスをおこないました。

《設計したスマホアプリ》

- Aチーム 山間部地域への配達員の負担軽減アプリ
- Bチーム 日本語指導が必要な生徒への支援アプリ
- Cチーム 認知症チェックアプリ
- Dチーム 不登校児童相談チャットアプリ
- Eチーム 島根のグルメショッピングアプリ



企画設計したスマホアプリは、2月に「成果発表会」を実施して、島根県商工労働部、企業関係者等に向けて提案しました。

発表会ではプレゼンテーションの他に、各企業のテーブルにて、アプリのプロトタイプを実際に操作できる時間を設けました。盛り込んだ機能の意図を直接伝えながら、アプリを体験してもらうことで理解を深めて頂きました。

アプリを操作した企業関係者から、2年生が作成したスマホアプリに対してのレビュー、評価もおこないました。

地域課題に着目したスマホアプリは、困っている人のニーズを的確にとらえ、アプリを通して、地域のニーズに寄り添ったサービスの実現ができそうだと高い評価を頂くことができました。

